



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議会ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

新たな一步を

2011 国民平和進行



核兵器の廃絶を訴え、全国津々浦々からヒロシマ・ナガサキをめざして歩みをつなぐ国民平和進行が、北海道から東北を縦断し、関東に入りました。6月30日、いわき市からの引継式が平潟公民館でおこなわれ、7月1日、北茨城市から日立市までを行進しました。

今年の行進は、これまでの「安全神話」を完全に打ち砕いた原発事故を目の当たりにして、原発からの撤退を求める声も高まりました。沿道で手を振りながら、脱原発の訴えに「本当にそのとおりよねえ」と声をかけてくれた人の真摯な表情が印象的でした。

つづいて、3つある常任委員会の所属変更がありました。各委員会の所属議員は一覧表のとおりです。日本共産党の福田幹氏です。

新議長に村田洋文氏

市議会

6月27日、第2回定例会市議会がはじまりました。議長選がおこなわれ、新たに村田洋文氏が選出されました。副議長は継続して緑川貞幹氏です。

新しい常任委員会の構成

総務委員会	
松本正春	蛭田千香子
鈴木啓一	鈴木和栄
鈴木重敏	前田利勝
村田洋文	大平博之
文教厚生委員会	
滝 広嗣	豊田むつみ
鈴木やす子	村田仁人
豊田海洋	鈴木信夫
緑川貞幹	
産業建設委員会	
丹 幸一郎	松下順幸
豊田弘俊	西野英夫
立原真人	福田良子
福田 明	
委員長、副委員長 (議席番号順、敬称略)	

市長再就任あいさつ

市議会の冒頭に、6月の市長選挙で再選された豊田稔市長が就任のあいさつをおこない次のように述べました。(要旨)

「感謝と思いやりを政治信条にやってきたが、私のその市政運営や、このたびの災害復旧対応に一定の評価がいただけた結果と考えている。いま、市立病院の移転新築問題はじめ、大震災からの本格的復興対策、原子力事故からの市民生活の安定と産業の再構築など新たな課題が山積している。いっそう市民の声を謙虚に受け止め、市民目線の行政運営に努めていきたい。」

「感謝と思いやりを政治信条にやってきたが、私のその市政運営や、このたびの災害復旧対応に一定の評価がいただけた結果と考えている。いま、市立病院の移転新築問題はじめ、大震災からの本格的復興対策、原子力事故からの市民生活の安定と産業の再構築など新たな課題が山積している。いっそう市民の声を謙虚に受け止め、市民目線の行政運営に努めていきたい。」

○福田 明
震災・津波対策、原発事故への対応、市立病院の新築計画
○鈴木やす子
防災計画の見直し、放射能汚染対策、地域経済の復興、自然エネルギーへの転換

原発廃止を訴える手づくりプラカードも掲げられた。



いわき市から行進してきたみなさん。(平潟公民館)



地震と津波の被災も考慮し、今年は磯原駅前から出発。

高萩市(仮)役所前で、行進を出迎える草間吉夫市長(中央)と、あいさつをする通し行進者の竹田昭彦さん。

農業委員選挙

北茨城市の農業委員会選挙が7月3日告示、7月11日投票でおこなわれます。任期は3年で、選挙区の定数は14。日本共産党では、現職の鈴木孝夫氏(54)を党公認候補として擁立します。



海と放射能

アメリカの水爆実験による放射能汚染をねばり強く調査してきたことで知られる高知県の山下正寿さんが本市を訪れました(写真は大津漁協にて)。核燃料のメルトダウンが引き起こす地下水汚染、それが河川を経由して海にひろがる事態を強く警告していました。